



平成30年度 組織改編と人事異動

4月1日付けで組織改編と人事異動を実施。平成30年度は「舞鶴版行財政改革」の総仕上げの年度と位置付け、新たな財政規律に基づく効果的な事務事業の執行のもと、多様な連携と創意工夫によって「舞鶴版地方創生」を推し進めます。また、職員一人ひとりが持てる能力を最大限発揮できるよう、適材適所の職員配置と女性職員の活躍推進に取り組み、職員の意識改革と組織の活性化を目指します。

教育長に奥水孝志氏

奥水孝志氏（60歳）を教育長に任命。奥水氏は昭和56年に教諭となり、市教育委員会理事、城北中学校長を歴任し、平成30年4月から教育長を務める。任期は3年。



▲奥水孝志氏

佐藤裕之教育長が退任

教育長の職にあつた佐藤裕之氏は任期満了により、3月31日付けで退任しました。

組織改編など

平成30年度は11公室・部、12室56課で組織を運営。組織改編の概要は次のとおり。

◆「移住・定住促進本部」と「移住・定住促進課」の新設

庁内の担当部署が情報を共有し、総合的かつ効果的に「移住・定住の各施策」を推進するため、全庁的な組織として、移住・定住促進本部（関係課に本部員を配置）を設置。併せて、政策推進部に移住・定住促進課を設置し、迅速かつ戦略的に「舞鶴を知ってもらい、移住先として選んでもらい、実際に住んでもらい、舞鶴の良さを市外へ広げてもらう」という本市の「移住・定住の各施策」を推し進める。

◆「資産マネジメント推進室」の新設

市が保有する施設は、各部局で施設ごとに整備計画や修繕計画を策定してきたが、施設間の整合性が十分でなかったため、新たに総務部に資産マネジメント推進室を設置。施設の「営繕（計画的保全、長寿命化対策）」を一括して行い、「施設経費の最少化」と「施設効用の最大化」に取り組み。

◆「2020東京五輪ホストタウン推進本部」の新設

引き揚げの歴史を縁とするウズベキスタンとの交流は、スポーツ振興課において、東京五輪ホストタウンに向け、レスリング、柔道競技の事前合宿の受

け入れ準備などに取り組んできた。これまでの取り組みを、持続性のある市民、文化、観光交流、さらに将来的には経済交流へと発展させ、オリンピッククレガシーとして未来につなげていくため、全庁的な組織として、2020東京五輪ホストタウン推進本部（関係課に本部員を配置）を設置。ウズベキスタンとの交流を総合的に推し進める。

◆「下水道事業」の地方公営企業化

水道事業に加え、下水道事業でも地方公営企業法を適用（民間企業の会計基準と同様の公営企業会計を導入）した事業運営を行い「経営基盤の強化」と「財政マネジメントの向上」に努める。

◆「浸水対策担当課長」の新設

昨年の台風21号により、東西市街地で道路冠水や家屋の床上、床下浸水被害が多数発生したことを受け、西市街地はもとより、東市街地でも浸水の発生原因を調査分析し「浸水対策の強化」に取り組み。

部課長の異動

異動の規模は職員831人中238人。平成29年度の退職者は39人、平成30年度の採用者は28人。職員総数は842人から831人へ、11人の減。女性職員の割合は39.2%、係長に女性が占める割合は34.2%、管理職に女性が占める割合は15.2%（いずれも病院と消防を除く）。

▽産業振興部長（教育振興部長）
瀨川治▽議会事務局局長（産業創造室長兼企業立地・雇用促進課長）
岡野昌和▽教育振興部長兼教育企画課長（教育振興部次長兼兼教育企画課長）
瀨野滋▽危機管理室長（前海上自衛隊第23航空隊司令）
小田浩一▽人事室長兼職員課長（議会事務局総務課長）
川崎弘史▽資産マネジメント推進室長（総務部次長兼資産活用課長）
浜本一▽人権啓発推進室長（建設部建設総務課長）
藤崎浩志▽市民文化環境部次長兼市民課長兼消費生活センター長（市民文化環境部次長兼西支所長）
左織誠▽市民文化環境部次長兼西支所長（福祉部次長兼福祉企画課長）
山崎久夫▽健康・子ども部次長兼健康づくり課長兼保健センター所長（健康・子ども部健康づくり課長兼保健センター所長）
山崎浩美▽観光まちづくり室長（地域づくり・文化スポーツ室スポーツ振興課長）
小谷裕司▽産業創造室長兼企業立地・雇用促進課長（産業創造室みなと振興・国際交流課長）
小森美▽産業振興部付次長（京都府北部地域連携都市圏振興社派遣）
観光まちづくり室長兼観光商業課長）
櫻井晃人▽会計管理者（会計課長）
西野和良▽監査委員事務局局長（人事室長兼職員課長）
糸井宏暢▽危機管理室危機管理・防災課長（危機管理室危機管理・防災課主幹兼危機管理・

防災係長）植和田浩行▽危機管理室危機管理・防災課災害対策担当課長兼危機管理・防災係長（建設部土木課建設係長）
中地俊元▽政策推進部企画政策課主幹兼京都府北部地域連携推進担当課長（舞鶴引揚記念館主幹兼世界記憶遺産推進係長）
濱田真義▽政策推進部移住・定住促進課長（政策推進部企画政策課主幹兼移住・定住促進担当課長兼まちづくり計画係長）
小西征良▽契約検査室指導検査課主幹兼指導係長（上下水道部下水道整備課主幹兼浸水対策係長）
松本真一▽資産マネジメント推進室資産マネジメント推進課長（教育振興部教育企画課企画係長）
仲川真広▽資産マネジメント推進室資産マネジメント推進課主幹兼建築係長）
藤村泰三▽資産マネジメント推進室資産マネジメント推進課主幹（総務部資産活用課主幹兼総務係長）
柴田和憲▽総務部情報システム課課長（総務部情報システム課主幹）
松本秀隆▽リサイクル事務所長（安岡園長）
村川嘉久▽地域づくり・文化スポーツ室地域づくり支援課主幹（中央公民館長）
地域づくり・文化スポーツ室地域づくり支援課主幹（谷慎一郎▽地域づくり・文化スポーツ室地域づくり支援課主幹）
中

央公民館（福祉部福祉援護課主幹）
山下圭一▽地域づくり・文化スポーツ室スポーツ振興課長（福祉部障害福祉・国民年金課主幹兼国民年金係長）
井田多映子▽西支所副支所長兼総務係長（教育振興部学校教育課主幹）
高井直樹▽福祉部福祉企画課長（福祉部福祉企画課主幹兼企画係長）
梅川正▽福祉部高齢者支援課主幹（安岡園主幹兼管理係長）
樋口誠▽福祉部福祉援護課主幹（西支所保健福祉係長）
濱田芳孝▽健康・子ども部子ども支援課長兼少年補導センター所長（健康・子ども部子ども支援課長）
荒木正純▽健康・子ども部子ども支援課主幹兼子育て支援課センター所長（健康・子ども部子ども支援課主幹兼子育て支援課センター所長）
中西阿里▽観光まちづくり室観光商業課長（市長公室秘書課主幹兼秘書係長）
小畑真奈美▽舞鶴引揚記念館主幹兼世界記憶遺産推進係長（健康・子ども部子ども支援課主幹兼少年補導センター所長兼子育て支援係長）
志賀洋一▽産業創造室みなと振興・国際交流課長（産業創造室企業立地・雇用促進課企業誘致担当課長兼みなと振興・国

際交流課みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長）
小島宏▽産業創造室みなと振興・国際交流課付主幹（京都舞鶴港振興会派遣）
（産業振興部付次長）
京都舞鶴港振興会派遣）
新宮敦雄▽産業創造室企業立地・雇用促進課企業誘致担当課長兼みなと振興・国際交流課みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長（観光まちづくり室観光商業課商業振興係長）
竹山真▽産業振興部農林課主幹（建設部土木課主幹）
尾橋英憲▽建設部建設総務課長（上下水道部経営企画課公営企業法適用担当課長）
井田和志▽建設部都市計画課住宅政策担当課長兼住宅係長（建設部住宅・営繕課主幹兼市営住宅係長）
豊田兼也▽建設部土木課主幹（契約検査室指導検査課主幹兼指導係長）
竹内章二▽会計課長兼会計係長（市民文化環境部市民課市民係長）
大谷美香▽議会事務局総務課長（議会事務局総務課主幹兼議事係長）
樋口佐由理▽教育振興部学校教育課主幹（福祉部高齢者支援課主幹）
瀨野薫▽上下水道部水道整備課主幹兼維持管理係長（上下水道部水道整備課主幹兼管理係長）
神田秀之▽上下水道部下水道整備課浸水対策担当課長兼浸水対策係長（上下水道部下水道整備課主幹兼計画・施設係長）
東山直

庁内の配置が変わりました

組織改編に伴い、庁内の配置が変わりました。主な変更場所は次のとおり。

- ③ 3階と4階は本館と別館がつながっていません。本館と別館との連絡は1階・2階の連絡通路を利用してください。

- …場所が変わりました
- …新設しました

【3階】

